

「野の花の丘便り」5月中旬

今年も春がやってきました

桜は散って芽吹き of 時期、新緑がまぶしい季節になりました。世の中はコロナ、コロナで参ってしまっていますが、春は忘れずにやってきました。木々は一斉に芽を吹き、鳥のさえずり、子供たちの元気な声も聞こえてきて一年で一番気持ちの良い季節になりました。

野の花の丘の花たちも新芽を出しています。センダイハギは早くも花を咲かせようと身をふるわせているようです。エゾクガイソウ、ヤナギラン、エゾカワラマツバ、オカトラノオ、クサレダマ、ヒヨドリバナ、ヤマハハコなどなど日に日に大きくなってきています。一方厄介者の雑草たちも、花との勢力争いが始まっています。

植物は芽を出した場所で生きていくしかない、他どこへも行けない、出たところ勝負の世界ですね。

「世の中は出たこと勝負ツクシンボ」

芽を出し始めた花たち

ヤナギラン



エゾクガイソウ



センダイハギ



オカトラノオ



「野の花の丘便り」5月下旬

センダイハギが花をつけています

センダイハギの黄色い花が早くも咲き出しました。暦の上ではもう夏を迎えています。花たちも凄い勢いでどんどんと成長しているように思えます。5月の下旬は小満とって、万物が成長して天地に満ち始める時期だそうです。秋にまいた麦の穂が実りほっと一安心＝小さな満足、から小満となったと言われています。

5月15日に今年最初の作業を12名で行いました。例年と比べ少し早かったせいか、雑草もまだ小さく作業がはかどったような気がしました。

今緊急事態宣言発令中で、行動が制限されてしまい何にも出来ません。ひきこもってばかりじゃなくて、たまには外に出て芝の上に寝転がって、のんびりとひなたぼっこして、春の気分に浸るのもいいものですね。

「寝ころびし芝のぬくもり風光る」

センダイハギ



皆さんお疲れ様でした



「野の花の丘便り」6月上旬

つぼみはまだか？

センダイハギの黄色い花ばかりが目立っていますが他の花たちも一日一日と成長し、早くつぼみを持つようと競い合っているようです。季節はもうすぐ夏至、花たちは成長のピークを迎えようとしています。

センダイハギ、エゾクガイソウ、オカトラノオ、ヤナギランなど、着実に増え勢力を拡大している花がある一方で、かなり劣勢で消えてしまいそうな花もいくつかあります。オトコエシ、カワミドリ、トモエソウなどですが、少しでも頑張ってもらいたいとの願いを込めて昨年種を取って育て、今回植えてみました。キラキラしているテープが巻き付いている支柱のあるところですよ。

世の中は緊急事態宣言が継続中、明日が見えない毎日です。なるようになるれ、明日は明日の風が吹くと、花たちのように腹くるしかないのでしょうかね。

「明日のことどうでもよろし葱坊主」

頑張ってもらいたいと、願いをこめて植えました
オトコエシ



トモエソウ

カワミドリ



新たに植えたヒオウギアヤメ



「野の花の丘便り」6月中旬

つぼみが出始めました

紫色のエゾクガイソウ、白色のオカトラノオのつぼみが出始めました。ピンク色のヤナギランはもう少しというところでしょうか。今年はクサレダマが随分と増えています。ここ2年程虫がつき花芽を食い荒らしてほとんど花が咲きませんでした。今年は変な虫が付かないよう、黄色のきれいな花が咲きますよう、祈っています。

暦の上では「梅雨」、雨、アジサイ、カエル、カタツムリなど湿ったイメージですが、北海道はカッコウが鳴き、ハマナスも咲き始め、さわやかな季節です。

6月12日に今年2回目の作業、園路の補修や、雑草取りに汗を流しました。黄色く咲いているセンダイハギも多くなりすぎて、雑草と同じように少し間引きました。少し天気は悪かったけど、いい汗かいてすっきり爽やか、「野の花の丘」きれいになったと自画自賛。

「健康な汗と思ひし庭仕事」

皆さんいい汗流しました



やっと出たぞ、つぼみ
紫色のエゾクガイソウ



白色のオカトラノオ



「野の花の丘便り」6月下旬

つぼみを咲かせようとしています

夏至が過ぎて野の花の丘の花たちも成長がピークになり、これからは花を咲かせ、実をつける時期です。

エゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、などの主役？たちは、つぼみをふくらませもうすぐ開花です。クサレダマ、エゾカワラマツバ、ヒヨドリバナ、などの脇役？たちも負けじとばかりです。トモエソウ、オトコエシ、カワミドリなどの稀少勢力？たちも元気です。

今年は花たちの成長がすごく良いように思えます。沢山花を咲かせてくれる事でしょう、楽しみです。

今季節は梅雨、北海道は梅雨がなく快適な時期ではありませんが本州方面は毎日雨、雨、嫌な季節ですね。

「さりながら梅雨はなくてはならぬなり」

もうすぐ花が咲きます

エゾクガイソウ

ヤナギラン

オカトラノオ

主
役
？



クサレダマ



エゾカワラマツバ



ヒヨドリバナ

脇
役
？



トモエソウ



オトコエシ



カワミドリ

稀
小
？



「野の花の丘便り」7月上旬

花が咲き始めました

やっとと言いますか、待ちに待ったと言いますか、花が咲き始めました。コロナに翻弄されながらも、早いもので今年も半分が過ぎました。

ヤナギラン、エゾクガイソウなどが咲き始め、オカトラノオ、クサレダマなどもこれから一斉に咲き出します。野の花の丘は、一年で一番華やかな時期を迎えます。

一方ではチシマアザミ、エゾゴマナのようにほとんど姿を消した花もあります。隣の森林公園では普通に見られるのですが、ここの水は合わないのでしょうか？
どんどん増えていく花、消えていく花悲喜こもごもです。

季節は夏、サクランボが実っています。サクランボを見るとなぜか若かった頃を思い出します。ルビーみたいな輝く色、赤いしずく

「食べるには惜しき色なりさくらんぼ」

咲き始めた花たち

ヤナギラン



エゾクガイソウ



姿が見えなくなった花たち

チシマアザミ



エゾゴマナ



「野の花の丘便り」8月中旬

祭りのあと

オリンピックも終わり、祭りの後のけだるさを感じます。今年は稀に見る長く暑い夏でした。あまりの暑さに「なんにもかも暑さの過ぎてからのこと」と何事も先送りの状況でした。やっと涼しくなってきましたが、まだ暑さの後遺症でシャキッとしません。

野の花の丘の花の盛りは過ぎて、今は秋の七草のオミナエシやキンミズヒキ、エゾノコンギクなどが咲いています。今年は主役の花たちも脇役の花たちも成長がよく元気に沢山咲きましたが、オトコエシ、エゾミソハギ、カワミドリはほとんど見えなくなりました。

それなのにあの厄介者のセイタカアワダチソウの黄色い花は今年も元気にはびこっています。まさに「憎まれっ子世に憚る」、なんとかなりませんかね。

秋の気配が漂う野の花の丘



セイタカアワダチソウ

「野の花の丘便り」8月下旬

夏疲れ？

「野の花の丘」の花もほぼ終わり、今は黄色いオミエシ、紫色のエゾノコンギク、綿毛の混じったピンク色のヤナギランなどが咲いています。7月の最盛期に比べると、花の量は極端に少なくなり寂しくなりました。

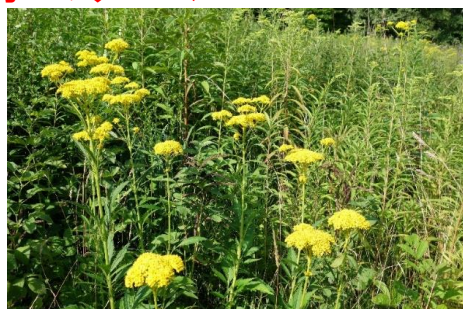
8月21日に今年最後の草刈りの作業を行いました。あれだけはびこっていたセイタカアワダチソウがあつという間になくなりました。作業をやり始めてから6年余り、皆要領が良くなり作業が早く、的確になってきました。

今年は本当に暑い夏でした、花たちにも夏バテというものがあるのでしょうか。見るからに暑さに強いはずのヒマワリも夏やせ？夏疲れ？

「向日葵の少し疲れて暮れにけり」

来年に向けゆっくりと休んで力を蓄えて欲しいものです。

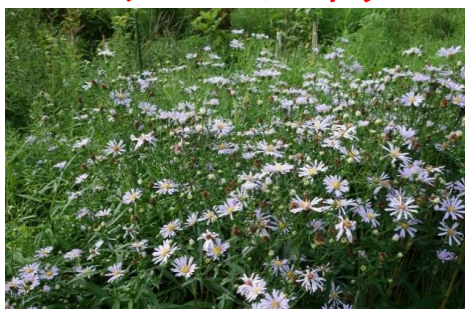
オミナエシ



ヤナギラン



エゾノコンギク



皆さんお疲れ様



「野の花の丘便り」9月上旬

やっと涼しくなりました

「いつまでと思ひし暑さ過ぎにけり」

あれほど暑かった7月8月でしたが、9月ともなるとさすがに涼しくなってきました。

今はオミナエシとキンミズヒキの黄色い花が目立っています。ヤナギランは綿毛になりながらもまだ頭上のピンクの花を咲かせています。またほとんどなくなったと思っていたエゾミソハギが意外と目立ってきました。秋の花のユウゼンギク、園路の反対側の萩の花も咲き始めました。

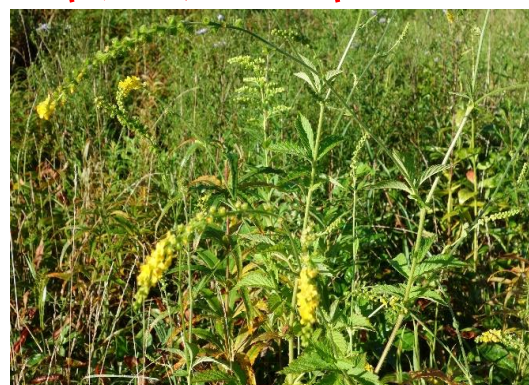
元気に咲いている花はいいのですが、他の花や雑草に負けて今にも消えそうな花もあります。少しでも回復できるよう、手助けを企んでみたいと思っています。

今目立っている花たち

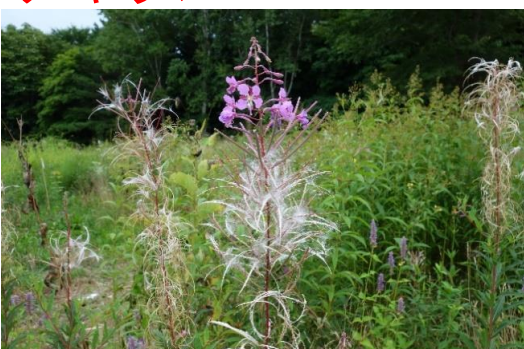
オミナエシ



キンミズヒキ



ヤナギラン



エゾミソハギ



「野の花の丘便り」9月下旬

キクとハギ

9月下旬ともなると花はほぼ終わり、今日につくのは紫色のユウゼンギクとピンク色のハギの花です。ユウゼンギクは春から夏にかけてはほとんど目立たず、9月になるとと突然一面に花を咲かせます。ハギは春先はまるで枯れ木のようなのですが、9月になると不死鳥のように一面に花を咲かせます。花がなくなる9月から10月にかけて「野の花の丘」を彩ってくれます。

今年花はいつもより沢山咲いたように感じましたが一方で春の蝶々、夏の蝉、秋のトンボ、コロナとは関係ないでしょうが、虫はなぜか非常に少かったです。何はともあれ夏は過ぎ、秋風がさわやかです。

「やわらかに風の通りり萩の花」

花たちも今年はまだ店じまい、来年の準備に忙しそうです。今年の「野の花の丘」便りも終わりにします。

ユウゼンギク



ハギ

